

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292200126		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター南柏		
所在地	千葉県柏市富里3丁目3番42号		
自己評価作成日	平成29年2月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成29年2月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ご利用者様に安全に、また安心して生活して頂くことを念頭に置き、日々のサービス・ケアを実施しております。よりよいケアの実現のために、毎月のミーティング・ケアカンファレンス・研修を実施して、職員間でのケア方法の統一とケアの質の向上を目指しております。ご利用者様のご健康につきましては、月に2回の医師による往診と、週に1回の看護師の訪問により、維持・管理をさせて頂いております。
 ・近隣に大型ショッピングセンターがあるため、日々のお買い物や散歩などの外出での、気分転換や生活リハビリが可能となっております。ホーム立地も、柏駅から徒歩15分、南柏駅から徒歩15分程度の距離であり、ご家族様等がご面会に来られるのにも便利な立地となっております。
 ・自立支援と認知症の緩和のために、日々の家事等をご利用者様と職員と一緒にさせて頂いております。ご利用者様とのコミュニケーションを重視し、ご利用者様は笑顔で日々の生活をお過ごしになっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ニチイケアセンター南柏」は近隣に大型ショッピングセンターがあり、利便性に優れた住宅地の中にある。周辺環境を、日頃から散歩・買物・外食等で活用しており、利用者・家族・職員の外出の楽しみとなっている。また、地域行事や市のグループホーム連絡会開催のイベントへの参加等、柔軟な対応・継続的な交流に努め、馴染み関係の継続や新たな関係作りに繋げている。毎年施設恒例行事「ニチイ祭り」では、地域住民・家族等を招待しており、柔軟な支援提供及び、外部との交流のツールとして活用している。職場環境整備の一環として、法人独自のキャリアアップ制度を導入しており、職員の経験・技術・知識の把握を行い、計画的な人材育成・資格取得の奨励・職員の処遇への反映等に配慮している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ニチイ学館の理念である「誠意・誇り・情熱」を職員全員に周知しております。また、ホームの理念として高齢者の尊厳と自立を守るをミーティング等で周知し、理念の実現を目指しております。	「誠意・誇り・情熱」と言う社是と「高齢者の尊厳と自立を守る」と言う施設の理念を掲げ、事業所内に掲示している。全職員が携帯しているコンプライアンスカードに理念等を明記すると共に、新人研修や会議等の議題に掲げ、理念の周知・浸透を図っている。また、ホームページパンフレット等を通じて、社是・施設理念の外部への周知もされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お客さまと近隣へお散歩やお買い物へ出かける機会を大切にしています。また、ニチイ祭りに近隣の方をお招きして交流しております。見学は随時受け付けており、開かれた事業所運営をしております。	地域住民とは挨拶や声掛けを交わす等、地域との関係構築を図ると共に、町内会加入・地域行事への参加・施設行事への招待を通じて、地域との交流を広げる機会となり、施設の理解促進に取り組んでいる。また、高校生の職場体験・実習生受け入れ等、地域貢献にも努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ニチイ祭りにて、近隣の方をお招きしての認知症の研修や福祉用具の展示をしております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、平成28年度は2ヶ月に1回開催をしております。事業所の現状や課題をご参加者に報告すると共に、ご参加者からもご質問やご提案を頂き、サービスの向上に努めております。	地域包括支援センター職員・民生委員・町会長・入居者家族・職員等を構成員として、2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では施設活動の報告や意見交換を行う等、施設の理解促進に努めている。また、非常災害・緊急時に備え、避難訓練時の報告・意見交換等を行い、支援体制の整備に取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	グループホーム連絡会に所属しており、連絡会の会議にて市の担当者とは話し合う機会があります。また、地域包括支援センターとも連携しております。	市に対して、日常の業務全般の報告・連絡・相談を行っており、連携を図っている。また、市のグループホーム連絡会に参加しており、会議を通じて、市と意見・情報交換を行う等、地域の現状に即したサービスの提供や課題解決に向けた協働体制が構築されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修において、毎年身体拘束廃止の研修を全職員参加にて実施しております。外部研修への参加もしております。玄関の施錠に関しましては、ご入居者様・ご家族様のご要望や安全面に配慮したうえで施錠管理を行っております。今後ともご入居者様の外出したいとのご要望・お気持ちを配慮、尊重してまいります。	身体拘束排除における施設方針・マニュアルの整備・研修の実施等、適切な対応を行う体制が整っている。また、各種の会議で身体拘束排除に向け議題として取り上げており、意識の再確認に努め、認識の統一を図っている。玄関の施錠については、家族の要望や入居者の安全面に配慮しながら、状況に応じた対応に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニチイ学館として高齢者虐待は許さないと強い姿勢を持ち、「虐待をしない、させない、見逃さない」をスローガンとしております。このスローガンの下に業務ミーティング等で高齢者権利擁護の研修を実施しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月実施の内部研修や外部研修にて権利擁護について学ぶ機会を作っております。新入社員にも採用時研修にて、権利擁護について周知を致しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約の前にご説明をしてからご契約頂いております。また、疑問点等にはお答えしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様の相談や苦情の窓口に関して、契約書や重要事項説明書等に記載しており、運営規定はホーム入り口に掲示しております。また、運営推進会議にはご家族様にもご出席をして頂いており、ホームや職員へのご意見を運営に反映しております。	家族の面会時や電話連絡時に家族の意見・要望を直接確認している。手紙・行事案内の送付や招待・参加を促すと共に、運営推進会議開催時を活用し、意見の言い易い環境作りに取り組んでいる。他に、満足度調査を実施し、適切な支援の把握と改善に活かしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に業務ミーティング等の会議を開催しており、職員の意見や提案を聞く機会を設けております。	定期的な会議を開催しており、職員の意見・提案を確認する機会を設けている。会議の内容については、職員間で回覧し、改善内容の透明化が図られている。また、法人が独自のキャリアアップ制度を導入しており、職員の経験・技術・知識を把握し、資格取得の奨励や職員処遇への反映に努めると共に、職員の質の確保・向上を目指した計画的な人材育成に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ニチイ学館独自の制度としてキャリアアップ制度があり、一定の期間ごとに職員への面談、テストを実施し、キャリアアップ(給与加算)を行っております。また面談時は職員の希望や意見を伺い、ホームの環境整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を職員の希望やキャリアに応じて受けられるように配慮しております。また、働きながらトレーニングできるように職員のキャリアに応じた育成計画に取り組んでおります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市グループホーム連絡会に所属しており、他事業所や職員と交流を行っております。グループホーム連絡会主催の研修や交流会に職員が参加しております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にアセスメントを行っております。アセスメントにてご本人様がお困りことやご希望を伺い、それをケアカンファレンスにて職員間で話し合い・検討を行い、ご本人様が安心できる関係作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご見学時やご相談時に、ご家族様のご意見や不安な点をお伺いし、ご家族様・ご本人様のお気持ちに沿ったサービス提供に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご見学時、ご相談時に、ご本人様とご家族様の状況やご要望を確認しております。ご入居前に他のサービスをご利用の場合はケアマネージャー等と連携し、本当に必要としているサービスを受けられるように支援しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援の場として、ご入居者様のお気持ちを尊重しており、支援時にはご入居者様のご希望を伺っております。家事やコミュニケーションを職員とご入居者様が共に行い、職員がご入居者様からも学ぶ点があるものと思っております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアの状況について随時ご家族様へご連絡し、ご家族様のご要望を伺っております。また、ケアプラン作成にはご家族様のご協力をお願いし、ご入居者様を共に支えられる関係作りに努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居時には、ご利用者様が日ごろから愛用されていた物をお持ち頂いております。ご入居者様へのご面会は随時受け付けており、馴染みの方との関係が途切れないように支援しております。	入居者・家族から生活暦や趣味等の把握に努め、馴染みの生活継続に配慮している。地域の商店への買物や馴染みの場所へ立ち寄る等、入居者の希望に添った柔軟な支援が行われている。また、地域行事への参加やグループホーム連絡会開催の合同イベントへの参加等、馴染みの人との交流も図られている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活のなかでご入居者様同士が交流できるよう機会(レクレーションや散歩、お茶会など)を大切にし、交流の機会が増えるように支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去時に、今後も支援が必要な場合はご相談くださいますようお願いをしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様やご家族様にご希望やご要望を伺っております。ケアカンファレンス等でご希望・ご要望を職員間で共有しております。	契約時に本人や家族から意向・生活暦・身体状況を確認している。必要に応じて医師の意見書や他の介護サービス事業所からの情報を受け、より詳細な情報の把握に努めている。家族との会話や生活状況の記録を活用する等、より新しい情報の収集に努めていると共に、会議や申し送りにて全職員にて周知徹底を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアプランにご本人様の生活歴や暮らし方を反映できるように努めております。また、ご家族様にはご面会時等にご利用者様のことをお伺いして、暮らしの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日朝・夕と職員間で申し送りをして情報共有をしております。ケアカンファレンスを通じて、ご本人様の現状把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員以外の関係者にもご参加頂き、定期的なケアカンファレンスを実施しております。ケアカンファレンスでの話し合いを通して、ケアプランにご利用者様やご家族様の意見や要望を反映できるようにしております。	本人・家族の意向や記録を基に、会議にて意見・情報交換を行い、介護計画を作成している。生活状況や意向等を確認しながら、入居者主体の現状に即した介護計画の作成に取り組んでいる。定期的に目標達成状況の確認を行い、必要に応じて介護計画の見直しを行う等、現状に即した介護計画の作成に取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別記録に残しており、申し送りで全職員が内容を確認しております。また、個別記録以外にユニットごとの申し送りノートを作成しており、情報共有や介護計画の見直しに活用しています。		

【千葉県】ニチケアセンター南柏

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人がご希望の買い物への付き添いや医療機関への受診付き添いなどを行い、サービスの多機能化に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療機関・地域包括支援センターとの連携を始め、近隣の方やボランティア様のご協力を賜り、地域の一員としてイベント参加などをできるように支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様・ご家族様のご希望に沿った医療を受けられるように支援(相談、通院同行等)しております。往診医も複数の医療機関からお選び頂けます。	希望のかかりつけ医への受診が可能となっていると共に、定期的に内科医・歯科医の往診も実施しており、適切な受診支援が行われている。また、訪問看護も実施しており、適切な健康管理・相談・助言・対応を行う等、入居者・家族・職員の医療面に関する不安解消に繋がっている。他にも、必要に応じてマッサージも取り入れており、身体状況に応じた個別医療支援も行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制を取っており、24時間オンコール体制と週に1回の訪問看護にてご入居者様の健康維持に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを作成し、病院へ提供しております。管理者やケアマネジャー等の職員が病院の担当医や相談員と退院の計画を相談しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医と連携のうえ、ご本人様、ご家族様と十分な話し合いを行います。またケアカンファレンスにて情報共有を職員間で行い、重度化や終末期に向けて取り組めるように努めております。	重度化・終末期においては法人の方針・マニュアル・同意書を作成し、家族への説明を行っている。重度化した場合には、入居者・家族の意向を確認しながら、主治医・看護師等と話し合いを行う等、入居者・家族の意向に出来る限り沿えるよう努めている。また、必要に応じて医療機関や他の介護サービスの切り替えが円滑に行えるよう協力体制を構築している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、ユニットごとに常備しております。また、研修や消防署職員等の指導を通じて緊急時の対応ができるように努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施しております。そのうち1回は消防署職員立会いにて実施しております。また緊急時のマニュアルを作成し、全職員へ周知しております。	非常時・災害時におけるマニュアルの整備や研修等を実施している。消火器・自動通報器・スプリンクラー等の消火機器を設置すると共に、年2回、避難訓練も実施している。訓練では的確な避難方法・対応方法の確認等を行い、非常災害時に備えている。また、運営推進会議開催時に非常災害時の参加者への協力要請も行っている。	年2回、消防避難訓練実施しているが、今後は夜間を想定した消防避難訓練を行い、状況に応じた避難方法の確認を行うことで、全職員が確実な避難誘導方法を身につけ、災害時に備えて頂く事を強く奨めます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーや個人情報保護について研修とテストを毎年実施しています。また、ニチイ学館としてのコンプライアンス遵守規定を定めており、全職員や周知しております。言葉かけについても内部外部研修を通じて尊厳に配慮した声かけに努めております。	プライバシー保護・個人情報保護に関するマニュアルの整備を行うと共に、法人がコンプライアンス遵守規定に定言しており、共通理解や意識の徹底に取り組んでいる。また、研修や会議にて個人の尊厳に配慮した接遇方法を指導しており、全職員は会話や介助方法等に細心の注意を払い、入居者のプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の状態や状況を確認したうえで、ご本人様が自己決定や自己選択をする機会の提供に努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様それぞれの生活習慣・ペースを尊重し、ご利用者様の嗜好やご希望に沿った生活をできるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日着られる物はご利用者様の選択・希望を尊重しております。訪問美容師と相談してお好きなヘアスタイルを決めて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と職員がご利用者様の状態に応じ、一緒に調理や盛り付けをしております。毎日の献立にはご利用者様の好みを伺い、反映できるように努めております。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から片付けまでを入居者と職員が共同で行っている。食材は近隣の業者に委託しており、献立作成・調理は職員が行っている。入居者の希望・嗜好・季節感を取り入れた食事を提供すると共に、定期的には外食・特別食・手作りおやつを実施しており、家族への参加も呼び掛ける等、食に対する楽しみを支援している。	入居者の今後の身体機能の状態変化に備え、食事提供時の入居者に対しての見守り・介助方法・人員配置等の再検討や見直しをして頂き、入居者の安全確保や職員の負担軽減に向け、食事を楽しめる環境作りをして頂く事を望みます。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎食ごとに計測・記録しています。ご入居者様それぞれの嚥下や咀嚼能力に応じた食事を、医療職に相談しながら提供しております。栄養面でもバランスのよい食事の提供に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施しております。口腔状態については、歯科医師の往診にて確認をしております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尊厳に配慮した声かけにて、トイレ誘導をしております。個別の排泄記録を取り、排泄パターンの把握に努めております。	排泄チェックリストを活用し、入居者個々の排泄パターンや健康状態を把握し、個別の排泄支援に努める共に、見守り・声掛け・トイレ誘導を行い、排泄の自立を目指している。また、食事内容の工夫や医師・看護師と相談を行う等、自然排便を目指した適切な対応及び処置に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操などの適度な運動の機会を提供し、便秘の予防に取り組んでおります。また、日々の排便を記録し、主治医とも便秘について相談しております。食事にヨーグルト等の腸内に働きかける効果のある食材を適宜提供しております。		

【千葉県】ニチケアセンター南柏

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人様に入浴の希望を伺い、入浴を職員の都合で決めないようにしています。またご本人の状態に応じて、シャワー浴や清拭なども実施しております。	入浴日を定めてはいるが、回数・時間等は自由に選択することが可能となっている。入浴拒否がある場合には、日時の変更や声掛け・対応方法に工夫を凝らす等、柔軟に対応している。必要に応じて、清拭や部分浴を行う等、清潔保持に努めている。脱衣所にはカーテンやトイレが設置されており、入居者のプライバシーに配慮した設計となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご希望があれば、日中のお昼寝もして頂いております。ご利用者様の体調や気分寄り添い、安心してお休みにられるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様ごとに薬の一覧表を作成し、職員間で共有しております。また服薬セット時は職員二人で確認をし、薬の間違え防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様それぞれの嗜好や趣味を楽しんで頂けるように支援しております。また家事等もご利用者様の状態に応じて職員と一緒に頂いており、ご利用者様の力や培ってきたもの活かせるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ご利用者様の体調やご希望に合わせて、散歩やお買い物などの外出支援をしております。ご家族様との外出や外食の際にはご利用者様の状態をお伝えし、無理なく外出できるように支援しております。	近隣に大型ショッピングセンターがあり、日頃の散歩・買物等で活用しており、利用者・家族・職員の外出の楽しみとなっている。定期的に外出行事を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。また、ユニット間の交流等を行い、施設内での楽しみの充実化を図っている。	

【千葉県】ニチイケアセンター南柏

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金に関してはご家族様のご理解ご協力のうえ、個別にお財布をお預かりしております。近隣へ買い物へ行く際は、お支払いをご利用者様自身に行って頂くように努めております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話を使用する際は、職員が見守りするなどの支援をしております。また、携帯電話の所持・使用も可能となっております。手紙のやり取りも支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明器具は反射しないようになっており眩しさを軽減しております。温度計湿度計を共有部に設置しており、適切な温度湿度に配慮しております。季節の花を置くなどし、季節感を感じて頂けるようにしております。	共有スペースには椅子・テーブル・和室を設置しており、自由にくつろげる環境が整備されている。また、写真・作品の掲示や季節飾り付けを行う等、明るく楽しい雰囲気作りに努めている。温度・湿度計や加湿器等を設置し、空気乾燥による感染症予防に努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では、ご利用者様がそれぞれ思い思い好きなことをして過ごせるように支援しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の愛用品や馴染みの家具等をお持ち頂けます。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具等を持ち込むことが可能となっており、入居者が居心地良く生活できるよう配慮している。希望に応じて和風や洋風の使い方が可能となっており、入居者の生活暦に合わせた居室作りがなされている。各部屋に鍵や収納スペースが設置されており、プライバシーが確保されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの適切な設置、トイレにわかりやすい目印の設置など、安全に配慮し、ご利用者様が使いやすい、また過ごしやすいように工夫してあります。		